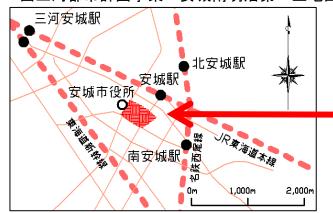
# 安城南明治第一地区 再評価調書【概要版】

## I 事業の概要

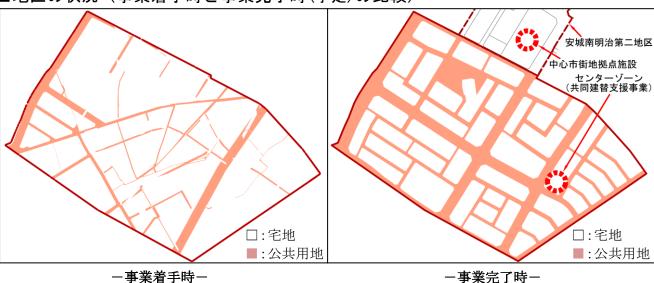
### ■本地区の概要

### 西三河都市計画事業 安城南明治第一土地区画整理事業



	施行地区面積	16.7 ヘクタール
	施行期間	平成 19 年度~平成 38 年度
	総事業費	228.3 億円 (当初 235.0 億円)
	事業着手時の 地区の問題	<ol> <li>1.公共施設の未整備</li> <li>2.建物の老朽化</li> <li>3.集客力の低下</li> </ol>
	事業の目的	1.居住機能の向上 2.防災機能の向上

### ■地区の状況(事業着手時と事業完了時(予定)の比較)



狭い道路、不整形な宅地、住宅の老朽化 花ノ木商店街等の集客力の低下

ー事業完了時一 広い道路、整形な宅地、建物の建替え センターゾーン及び中心市街地拠点施設の立地

### ■事業の目標

#### ①都市施設へのアクセス性向上

歩道付道路を整備することで、市役所や中心市街地拠点施設等へのアクセス性の向上を目指します。

### ②市街地環境の向上

幅員の狭い道路を拡幅し、宅地の形を整えることで、市街地環境の向上を目指します。

#### ③防災機能の向上

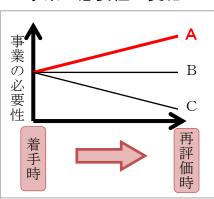
道路等の公共施設を整備し、老朽建物の建替えを促進することで、災害に強いまちを目指します。

### ■事業開始後の出来事

				センターソーン			1
事業開始			工事開始		事業化		
平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
安城南明治第二地区				新重点密集市街地		中心市街地拠点施設	
	事業開始			指定		<i>事業化</i>	

# Ⅱ 評価

### ■ 事業の必要性の変化



#### ・事業着手時の状況

老朽建物が密集し、基盤整備の遅れが顕著です。

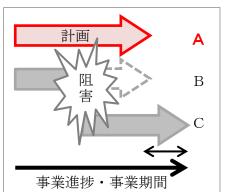
### ・再評価時(今回)の状況

センターゾーン共同化事業、安城南明治第二土地区画整理事業及び中 心市街地拠点施設の整備事業も事業化し、本地区の早期整備が求められ ると同時に、まちづくりの機運が高まっています。

また<u>平成 24 年度に新重点密集市街地(著しく危険な密集市街地)に指定されており、本地区の防災対策が、全国的にも緊急の課題であることが認識されています。</u>

· 判定 トトトトトトトトトトトトトトト 【A】必要性は増大

### ■ 事業の進捗状況及び見込み



### ・事業の進捗状況

### ・未着手又は長期化

未着手の工事はなく、将来にわたって長期化の傾向もありません。

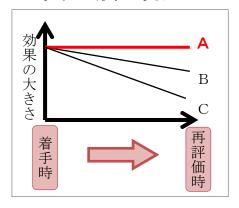
#### ・今後の事業進捗の見込み

事業を阻害するものはありません。

順次、仮換地指定を行い、効率良く計画的に事業を進めます。

・判定 **トトトトトトトトトトトトトト** 【A】事業は計画通り

### ■ 事業の効果の変化



費用対効果		1	.0
街路事業	: 2.40		
土地区画整理事業	: 1.23		

費用対効果が 1.0 を上回っており、事業投資効果が確認できます。

#### ・その他の効果

アクセス性の向上が期待される施設として、市役所及び安城駅を想定していましたが、<u>中心市街地拠点施設へのアクセス性の向上</u>も、効果として期待できます。

さらに、<u>センターゾーン及び中心市街地拠点施設の波及効果による地</u>区全体の活性化も期待できます。

また、道路の拡幅や老朽建物の建替により防災機能が向上します。

· 判定 トトトトトトトトトトトトトト 【A】効果は増大

# 皿 対応方針

Ⅱ 評価より、本事業の今後の対応方針を決定します。